

事業所名

また あした

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

3月

20日

法人（事業所）理念	『一人ひとりが自らの道を切り拓き、自分らしく生き生きと輝く』それが当たり前にある地域社会を創ることが、私たちの使命です						
支援方針	「また明日」は、自らの可能性を広げ、一步を踏み出せる場所。教育・社会参加・就労など、幅広いステージで学び、成長できる環境を築きます。誰もが自信を持ち、未来を描き、選択肢を広げていけるよう支援していきます。						
営業時間	平日	10時	30分から	18時	10分まで	送迎実施の有無	あり
	休日	8時	30分から	16時	10分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	将来の自立した生活を意識した生活トレーニングを実施します。年間支援計画に幼児期に獲得したい生活スキル項目の目標を盛り込み、計画的に支援を行います。健康管理スキル・身辺管理スキル・危機管理スキル・金銭管理スキル・時間管理スキル・移動スキル 6つのターゲットスキルをプログラムの中に取り入れ、個別支援計画に反映し、日々の支援を展開していきます。児童が主体的に、イキイキと活動に参加しながらスキルを獲得していく事を目指します。					
	運動・感覚	粗大運動では、操作系動作・移動系動作・平均系動作を「感覚統合支援や身体の使い方」の時間に支援していきます。微細運動では、手先や指先を使った活動を集団または個別で行います。粗大運動・微細運動ともに専門職による、専門的支援計画に反映し、日々の支援を展開していきます。繰り返し支援を積み重ねながら、「できた」が実感できる支援を目指します。					
	認知・行動	認知機能トレーニングを支援プログラムの中に取り入れ実施しています。机上課題で行うトレーニングを中心として支援を展開していきます。プリント学習を通して、目と手の協応動作や文字や数字の理解を深めていきます。支援の中に「ルール学習」を取り入れ、社会的に通用する行動を意識できるよう支援しています。一人ひとりの【強み】や【可能性】を伸ばす事を目指します。					
	言語コミュニケーション	言語は聞く力・話す力・書く力・質問する力を意識した支援計画を立て支援を展開していきます。プログラムの集団あそびの時間や机上課題の時間を活用し支援しています。プリントで語彙を増やしたり、文字の理解や書く力を育成しています。話す力・聞く力・質問する力では月のターゲットスキルにあるSST課題にとりくみ、集団の中で他児童とやりとりする中で力を育んでいきます。プログラムの中の日直活動や頑張った事発表で自己表出の場をつくり、自信につなげていきます。					
	人間関係社会性	【人と関わる力】【社会集団の中で生きる力】を意識した支援計画を立て、その中で自己理解、他者理解を深めていきます。プログラムのSSTの時間や体験活動の時間を活用し、月のターゲットスキルに取り組みます。集団活動の中で、他児と関わりながら社会集団の中での振る舞いを学習していきます。お友達と一緒に活動する楽しさや、難しさを体験し社会性を育てていきます。					
家族支援	進路や生活における困りごとなどの相談に応じます。また、当事業所のアドバイザーの専門家による悩み事等の相談ができる親カフェを年に2回行っています。連絡帳を設け、家庭との情報連携ツールとして活用しています。親子活動を設け児童の様子を直接見てもらえる機会を作ります。				移行支援	進学先や放課後児童クラブ・地域の園や学校、医療、その他関係機関と連携し、調整と情報交換等を行い、児童が円滑に移行できるよう支援します。（移行支援会議への出席や情報共有など）地域資源を利用した体験学習を行い、交流を図ります。	
地域支援・地域連携	ライフステージに応じた進学先や進路を関係者間で情報共有し連携して児童をサポートし、先を見据えた情報発信ができるよう努めます。地域資源を活用した活動を積極的に立案し、児童が主体的に地域に関われるよう支援します。				職員の質の向上	児童部門・成人部門ともに専門家のアドバイザーによる研修を年に4回行っています。全事業所で集まる会議を1カ月に1回行い事業所間で情報共有や事例検討等を行っています。専門職による専門職会議や1週間に1度の施設長会議で支援の向上や方向性の確認、情報共有を行っています。	
主な行事等	年に2回の保護者支援（親カフェの開催）・文化祭 季節の行事（初詣、節分、お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など）専門家の先生と園訪問 調理実習・社会科見学・買い物学習活動ほか 防災訓練（避難訓練、消火訓練、その他避難場所の確認や地域自主防災隊との連携訓練）など						